

# 侵略・差別・戦争準備と闘 全学集会

【全学のみなさん】

毎年10月21日は『国際反戦デー』としてさまざまな反戦・国際連帯の集会・行動が関わられてきました。今秋、私たちは、10月22日に、学内でのさまざまな闘いの結集をもって『侵略・差別・戦争準備と闘う10・22全学集会』を開催します。そして10月23日には、関西の他大学で闘う学生とともに『日帝の侵略戦争準備に対する共同の反撃を区 10・23関西学生集会』を勝ちとっていきましょう。全学の皆さんの両集会への結集を呼びかけます。

帝国主義の重圧と独裁政権の圧政を撃ち破るAALA人民の民族解放闘争が、全世界で闘われ着実に前進しています。追いつめられた帝国主義は更に独裁政権にテコ入れし、軍事介入など可能な限りの手段を用いて自らの権益をむさぼり続けようとしています。ラテンアメリカへの米帝、韓国、フィリピンへの日帝、等々。こうした帝国主義の危機感を反映して、日帝中曽根は「戦後政治の総決算」をとこなえます。そして、歯止めを取り去っての大軍拡、労働運動の右翼的再編、「日の丸」「君が代」天皇主義・国家主義教育の発射、「国家秘密法」上皇、様々な治安管理体制と、まさに侵略戦争に向けた国内総再編をなしきらんとしています。

こういった日帝の全面的な攻勢に対して、諸領域で持続的に闘争実践をかさねてきた人々からの反撃が次第に組織されようとしています。私たちは、こういった諸戦線の闘いを結集し、各地域、学園における闘いをかまえた共同の闘い——共に日帝を追いつめる闘い——を地域、戦線を越えて、作り出していく必要があると思います。

ここ京大においても、侵略戦争準備へと向う日帝の諸矛盾・攻撃があらわれています。より効率的な産官学共同をおし進め、あわせて学生治安管理体制を完成せんとし、関西学研都市計画への参加をうたう将来計画検討委路線の推進。学内INS構想、コンピュータシステムの整備による研究管理、学生管理の緻密化。学生自治活動に対する攻撃、立憲撤去、ステッカーはがし、吉田寮への86年「在寮期限」設定による廃寮化、寮自治会解体の攻撃。授業料免除制度改悪に見られるように成績基準の導入による能力主義的選別の強化が狙われ、一方で、京大生による差別事件が続発するといった事態を生み出しています。

京大におけるこういった諸矛盾、諸攻撃に対する共同の反撃の陣型を整えるべく、私たちは『侵略・差別・戦争準備と闘う10・22全学集会』を提起し、開催します。さらにその闘いをかまえて、学園の枠を超えた共同闘争を構築していくべく、10・23の『日帝の侵略戦争準備に対する共同の反撃を区 10・23関西学生集会』へ結集していこうではありませんか。

10.23 日帝の侵略戦争準備に対する共同の反撃を!  
関西学生集会(2C 同大明徳館前)

(10.14(日) 早朝、熊野寮に機導隊を導入した当局-川端署弾劾!)

10月22日 4時~ 法経5番 同学生